

平成30年度の実施状況

	対象校 (校)	開催校数 (校)	中止・ 未実施	参加人数(人)	開催割合(%)
				() 内は昨年度	() 内は昨年度
小学校	678	677	1	46,486 (42,128)	100 (100)
中学校	320	319	1	27,065 (21,338)	100 (100)
高等学校	128	128	0	5,354 (6,218)	100 (100)
特別支援学校	38	38	0	2,588 (2,548)	100 (100)
義務教育学校	2	2	0	57 (58)	100 (100)
計	1,166	1,164	2	81,550 (72,290)	100 (100)

※千葉市立学校を除く

*2校は、インフルエンザ、雪の影響により中止

◇ミニ集会で話し合われたテーマ

○学校・家庭・地域の連携について

- ・ 学校支援ボランティア活動について
- ・ 熊本地震に学ぶ ～避難所に求められるもの～
- ・ 大規模災害に備える
- ・ 地域ぐるみで子どもを育てる
- ・ 地域との連携とキャリア教育（進路指導）の推進
- ・ 合理的配慮 ～学校・家庭・地域ができること～
- ・ 地域とともに推進する福祉教育
- ・ 学校と地域が連携した学区の安全
- ・ 地域の輪を広げていじめや非行をなくそう

○学校の運営や指導に関すること

- ・ 次世代に向けた学校づくり
- ・ グローバル人材の育成について
- ・ これからの道徳科授業について
- ・ 聞こえる世界、聞こえない世界、共に生きる社会へ
- ・ 不審者対応の避難訓練について
- ・ 地域と連携した特色ある教育活動
- ・ 夏季休業中の課題と対策
- ・ 学校評価を踏まえた学校づくり

○子育てやしつけについて

- ・ 児童生徒の成長に欠かせない食環境の在り方
- ・ 子どもの生と性について
- ・ 今、見直したい礼儀作法
- ・ 子どもの成長について
- ・ 子供の気持ちが分かる聞き方、親の思いが伝わる話し方
- ・ 思春期の子どもとの向き合い方
- ・ 子育てで育まれる親心
- ・ 家庭教育のあり方

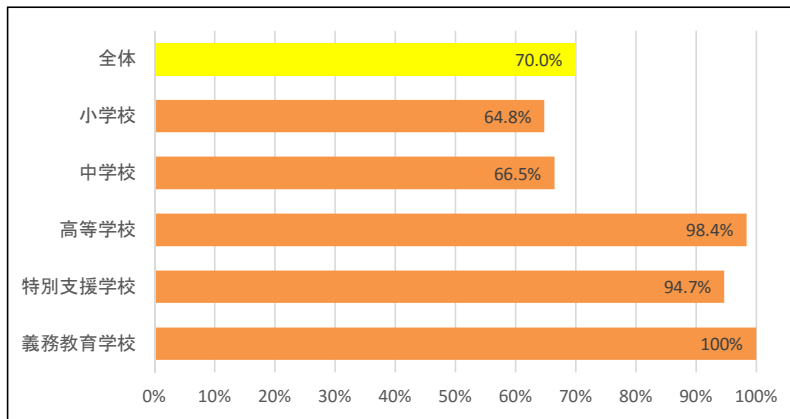
○その他

- ・ 子どもの夢を育む活動について
- ・ インターネットを楽しく安全に使うには
- ・ ネットの被害者・加害者にならないために
- ・ パラスポーツを通して、共生社会形成をめざすには
- ・ 健口から健康へ
- ・ 脳から考える子どものやる気
- ・ 命の尊さについて
- ・ 地域とともに歩む国際交流
- ・ 地域の自転車の交通安全について

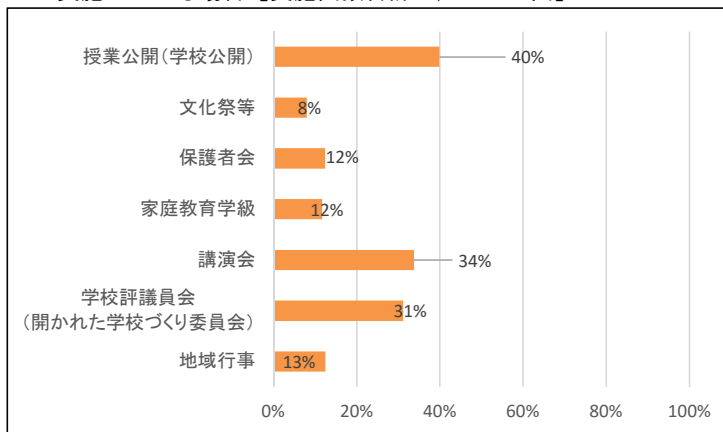
◇ミニ集会の成果や地域活動等に発展した例

- ・ 学校と地域でより一層の連携を図っていこうという意識の高まりにつながった。
- ・ 家庭・地域の率直な意見を伺い、今後の地域連携の具体的な方向性を見出すことができた。
- ・ 地域・保護者・異校種の教員から意見をいただき、今後の教育活動や地域との連携及び交流活動の活性化につながった。
- ・ ミニ集会で出された意見を教職員間で共有することができた。
- ・ 今後も学校・地域・保護者で協力していろいろな活動を行いたい。
- ・ 今まで以上に地域で見守りをしていこうという意識が高まり、見守りを増やすため各町会でもさらに呼びかけてもらえることになった。
- ・ 参加者間での活発な意見交換から、社会に開かれた教育課程の実現に向けた方策を考えるヒントを得ることができた。
- ・ 学校と地域・保護者が、さらに協力し合って子どもたちを育てていこうという気運が高まった。
- ・ 活発な意見交換により、家庭・地域・関係機関・学校がより連携していくことが確認された。
- ・ 家庭・地域の様々な意見や質問を伺い、教職員の意識が高まった。
- ・ パラリンピックをきっかけとして、障がい者スポーツに対する興味・関心が高まった。
- ・ 避難所の役割について、学校の取り組み、地域が協力できること、周知すべきことが明確になった。
- ・ 福祉避難所開設マニュアルの作成に向けて、参加者と意見交換をすることができた。
- ・ 地震・津波への対応として、登下校中、在宅時など、児童の状況に応じた避難対応を共通理解することができた。
- ・ 親として子どもにインターネットを楽しく安全に使わせる意識や義務が高まった。
- ・ 学校・児童が地域の方々の協力に支えられながら、安心安全な生活をしているという感謝の意識が高まった。
- ・ 地域に学校の様子を知ってもらい協力を得るとともに、教師も地域の協力の大切さを意識するようになった。
- ・ 少年非行の現状を知り、学校を核とした地域の果たす役割について、意識を高めることができた。
- ・ 子どもの意欲を高め、個性を伸ばす仕掛けづくりの大切さについて、教職員と保護者で共有することができた。
- ・ 昨年の反省から、PTAを中心に保護者や地域に声をかけた結果、参加者が増加した。

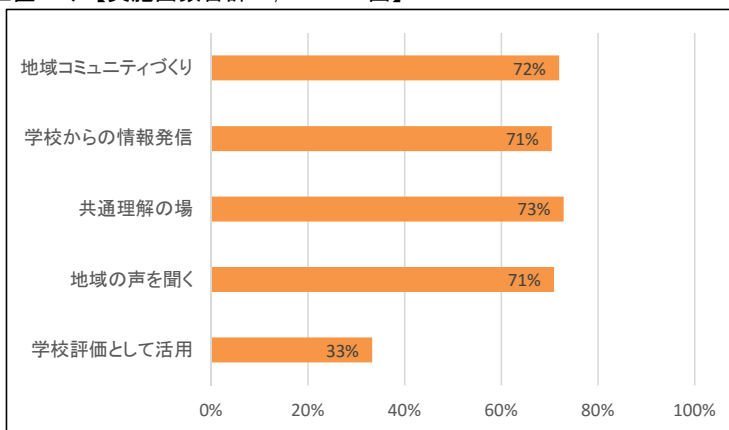
○開催校のうち、地域とともに企画運営している割合【実施回数合計1, 335回】



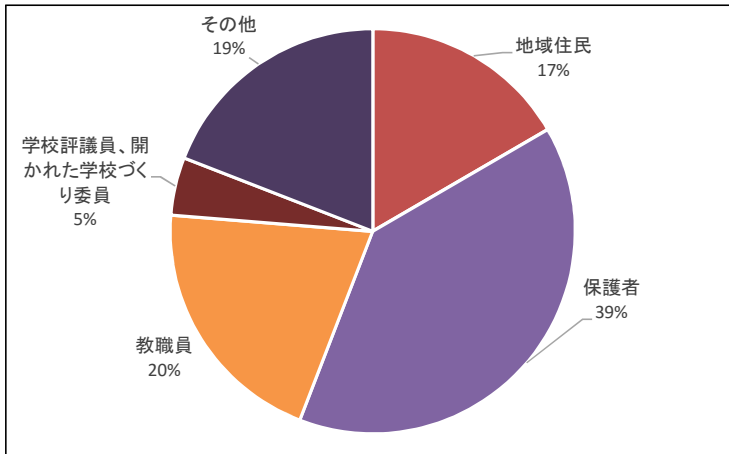
○他行事とセットで実施している場合【実施回数合計1, 335回】



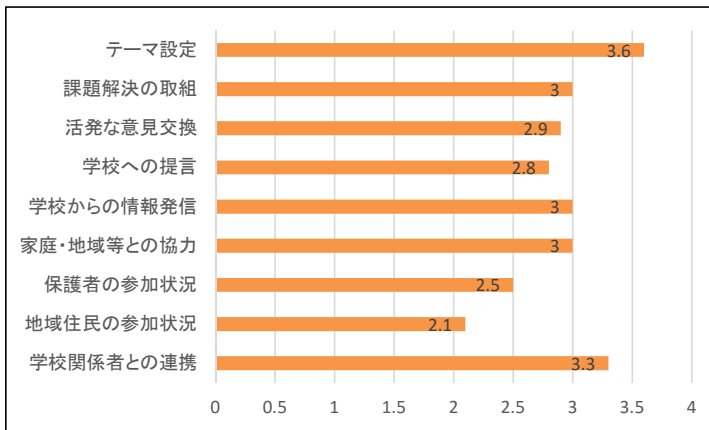
○ミニ集会の位置づけ【実施回数合計1, 335回】



○参加者の割合【参加者合計81,550人】



○ミニ集会の評価（4段階全体の平均）



○次年度の工夫・改善したい点

